



~4年ぶり男女アベック優勝を果たす~

大阪高体連新人戦優勝

大商学園にPKで勝利

平成24年度大阪新人大会(女子の部)は、1月29日からJ-GREEN堺ほかで行われ、大阪桐蔭高校は2回戦で勝山高校を55-0で破り、準決勝は星翔高校に2-0で勝利し決勝に進出した。3年連続の同じカードとなった決勝戦では大商学園を両チーム無得点延長PKの末破り2年ぶり3度目の優勝を果たすことができた。

新チームとして初めて公式戦に挑み、今年から行われるインターハイに向けて、良いスタートを切った。その後行われた男子決勝でも、大阪桐蔭は近大付属を3-0で破り4年ぶり2度目のアベック優勝となった。日頃お互い刺激し合う男女サッカー部がともに優勝することは非常に難しく、また誇らしいことである。

◇2回戦(2月5日、J-GREEN堺)35分ハーフ(カッコは前半のスコア)

大阪桐蔭高校 55-0(27-0)勝山高校

【得失点】1分中西、2分金本、3分中西、金本、4分棟安、6分長谷川、7分中西、10分濱本、棟安、14分金本、15分、16分、17分長谷川、20分濱本、中西、21分長谷川、23分中西、24分金本、25分長谷川、27分濱本、28分、29分長谷川、30分、31分運天、31分、32分山崎、36分、37分運天、38分濱本、39分棟安、40分、41分濱本、42分棟安、45分岡村、46分、47分濱本、47分棟安、48分山崎、50分運天、長谷川、52分八雲、53分棟安、55分長谷川、56分運天、棟安、58分濱本、長谷川、62分濱本、63分長谷川、64分運天、66分八雲、67分濱本、68分運天、69分長谷川

2月5日にJ-GREEN堺で行われた勝山戦。大阪桐蔭高校にとって大事な初戦だった。前半から27点という大量得点がいり、チームの雰囲気もよく良い流れで後半を迎えた。後半も展開にこだわり大阪桐蔭らしいサッカーができた。最後まで、手を抜くことなく、全力で走りきることができ、最終的に55-0という過去最高得点の記録が生まれた。

◇準決勝(2月12日、大阪産業大学生駒グラウンド)

大阪桐蔭高校 2-0(0-0)星翔高校

【得失点】64、67分中西

2月12日、大阪産業大学生駒グラウンドで準決勝が行われ、昨年同様星翔高校と対戦した。前半は両者無得点で折り返し、後半もお互い譲らず拮抗した試合となった。後半残り15分右サイドの崩しから中村が、オフサイドぎりぎり抜け出す中西にパスを通し、中西は難しい体勢から待望の先取点をあげた。その後、カウンターなどでピンチになるもの

の、残り7分、左サイド井口からのクロスに中西が反応し落ち着いて2点目を決めた。

◇決勝(2月19日、J-GREEN堺)

大阪桐蔭高校 0-0(0-0)延長 0-0(0-0)PK 5-4 大商学園

2月19日にJ-GREEN堺で決勝戦が行われた。創部が同じ年でお互いライバルとして意識しあう試合「大阪ダービー」は、新チームになってから初めての最高の舞台でのゲームとなった。緊張が高まる中試合は始まった。前半から大商学園ペースで、大阪桐蔭は守備的な戦い方になった。それでもチャンスは何回かあったが、決めきることができずお互い点が入らないまま後半が終了した。延長になりシステムを変えるものの、結局決着がつかず、PK戦へもつれ込んだ。後攻大商学園1本目のキックはゴールキーパーの服部がゴールを守り、大阪桐蔭に勝利の希望が見えた。先攻大阪桐蔭は4人目が枠を外し、危うい展開になるものの、大商学園最後のキッカーがはずし勝利を掴みとることが出来た。

本当に苦しい戦いだった。大商学園はとても強かった。内容は大商学園のほうが上だった。改めて自分たちの無力さに気付かされた。この大会で見つけた課題を少しずつ修正していきたい。まだチームは始まったばかり。結果に満足するのではなく、もっと高いレベルを目指して、我々のサッカーを魅せなければならない。

吉野チーム作りキャンプ

チームの結束を高めるために2月25、26日、奈良県吉野町にキャンプに行った。このキャンプはASEプログラムと呼ばれる内容で、「社会性育成のための実際体験」を行う。1泊2日という短い時間だったが、多くのことを学んだ。今回のキャンプの目的は「チーム・個人を変えること」。グループを4つに分け、各グループで食事を作ったり、地図を頼りに夜道を歩いたり、様々なプログラムをこなし、吉野の大自然を味わった。普段サッカーに日々を尽くしている分、仲間の目にしない姿や長所・短所が知られてお互いとても良い刺激になった。そして、改めて「仲間力」という大切さを実感した。頭を使うようなプログラムでも、「仲間力」がすごく必要で、全員で慎重に考え行った。1、2年生で、たくさんコミュニケーションをとり、意見交換を行い、この2日間で個人個人がチームに足りないものを見つけた。

イタリアキャンプ

3月6日から3月14日まで、イタリアを訪問する。前回までは、男女サッカーでフランス行きだったが、今年は初めて女子だけでサッカーの本場イタリアキャンプとなった。森本が活躍するノバーラのコーチによるトレーニング、長友の所属するインテルミラノとの強化試合、そしてセリエA観戦。普段私たちが経験できないことだ。イタリアに行くことはめったにない。チームが成長できるこの機会を無駄にせず、このチームに足りないこと、向上しなくてはいけないこと、少しでもこれからは生かせるよう、意味のあるものにした。

妻沼カップ

3月26日から行われる妻沼(めぬま)カップに参加する。昨年は、東日本大震災の影響で中止となったが今回は全国から48チームが参加し、4日間盛大に大会が行われる。この大会は第二の全国大会とも言われ、新チームにとって今後を左右する大事な大会になる。